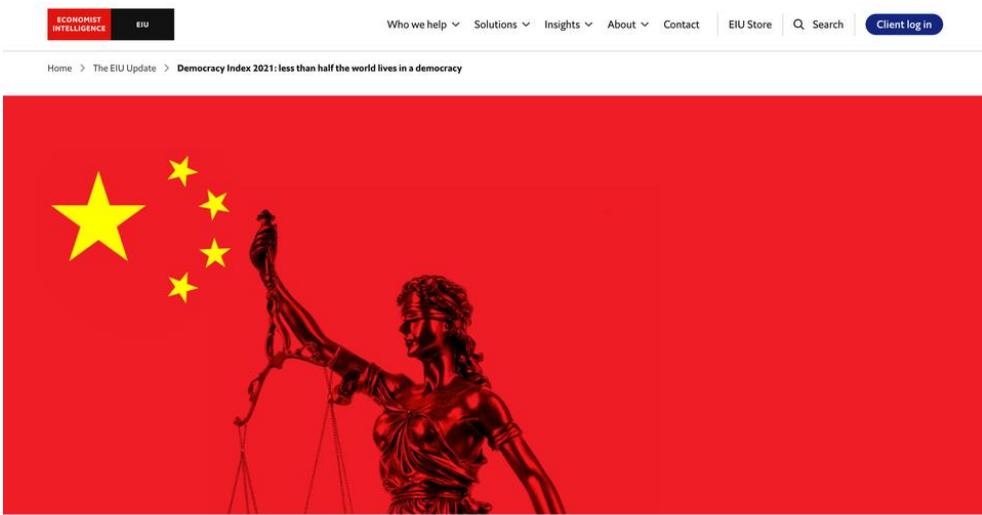




No.84 いいか悪いか 強いか弱いか



<https://www.eiu.com/n/democracy-index-2021-less-than-half-the-world-lives-in-a-democracy/>

人間は有史以来何千年も戦争し続けてきました。
武器や兵法は大いに進歩しましたが、破壊と殺し合いという行為は全く変わりがありません。
武器を持つ組織どうしの戦いが、武器を持たない人に対して悲惨な結果をもたらしてきました。

そしていつの時代も戦いの大義が何であれ、強い方が勝つという現実が残ります。
善玉の民主主義連合軍が侵略してくる悪玉の専制主義帝国軍に勝利するのは、ハリウッド映画ではお決まりのストーリーです。民主主義陣営には何としても勝ってほしい！しかし現実世界ではいかなる大義も勝利を保証してくれません。

連合軍というのもいい加減なものです。自分たちの犠牲を出さずに他人の犠牲で利益を得る。NATOもベラルーシも自分の血を流す気はありません。いくら民主主義国が連帯を叫んでも、自国の経済悪化にがまんできず早く戦争をやめてもらいたいと思えば、ウクライナに停戦＝敗戦を強いるでしょう。国際社会は非情なものです。

自分が強ければ大義を振りかざすことができるかもしれません、弱小国は勝ちそうな方を選ぶしかない。いいか悪いかではなく、決め手は強いか弱いかだけです。
イギリスの経済誌エコノミスト(EIU)が発表した2021年民主化指数では167カ国・地域中権威主義国数が59カ国、世界人口の37%となり、指標平均値は2006年以来最低となったとのこと。来年はさらに悪化するでしょう。



谷口博文の政策イノベーション

Date :2022年6月15日

このうち完全民主主義国(Full democracy, 指数10点満点中8点以上)に属するのは北欧諸国を中心に21カ国。アジアからトップで入るのは台湾(8位)。韓国、日本などもここに入ります。

アメリカは欠陥民主主義国(Flawed democracy, 6~8点)。権威主義国(0~4点)の中国、ロシア、最下位にあるアフガニスタン、ミャンマー、北朝鮮との対比は際立っています。しかし権威主義国ロシアの侵略を止めさせるために、民主主義国連合と権威主義国連合とが戦って、第3次世界大戦で決着をつけるというのが人類の正しい選択肢なのか…